

JAえんゆう広報誌

ひざし

2019 **1**

No. 239

謹賀新年

ひざし

2019.1月号 No.239

今月の主な記事

◎新年のご挨拶

- えんゆう農業協同組合
代表理事組合長 中川 菊夫…… 2
- 網走農業改良普及センター遠軽支所
支所長 竹岡 裕之…… 4
- 北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔章…… 5
- JAえんゆう青年部
部長 水野 暁
- JAえんゆう女性部
部長 松浦三代紀…… 6

◎一日皆貯金当選者発表……… 7

◎JAグループ通信……… 8

◎女性部フレッシュミズ合同研修会

◎JAえんゆう上湧別地区女性研修会……… 9

◎平成31年度

営農計画書作成協議日程について……… 10



今月号の「いもたま作造くん」
はお休みさせていただきます。

「クロスワードパズル」「当選者発表」
「読者の声」「各課紹介」は休載させて
頂きます。

組合長新年のご挨拶

えんゆう農業協同組合 代表理事組合長 中川 菊夫



組合員の皆様、並びにJA役職員の皆様におかれましては、平成最後の新年を、つつがなくご家族の皆様と共に、壮健にて迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年、日本国内は、西日本を中心とした集中豪雨、大阪北部地震に北海道胆振東部地震と、非常に災害の多い年であり、被災地におかれましては、一日も早く復興できることをお祈り申し上げます。

さて、昨年の当地域の天候を振り返りますと、四月は晴れの日が多く順調に雪解けが進み降雨も少なく、春耕作業は平年よりも早く終了した

しました。五月に入ると一転して、晴天が続かず雨と低温の日が多くそれは六月下旬まで続き、牧草収穫作業が遅れが生じました。七月には、北海道でも梅雨前線の影響を受けて、湿度の高い暑さと断続的な強雨があり、圃場への大きな被害は無かったものの、遠軽町の生活道路である「いわね大橋」の橋げたがずれて、通行止めになる被害がありました。

後半から八月前半までは、降雨が無く本州並みの猛暑が続き、後半は雨の近い日が多く、たまねぎの収穫作業が遅れが生じました。収穫最盛期の九月・十月は、秋晴れが多かった

事で、全般的に収穫は順調に進み、更に降雪が遅く、堆肥散布や秋耕作業も例年より早く終わりました。作物の生育時期が天候不順に見舞われ、組合員皆様は肥培管理に、大変なご苦労をされた事と思います。また、九月六日に胆振東部地震による全道的停電により、当地区の酪農家では生乳生産に大きな被害を受けたところでした。

畑作の状況につきましては、播種移植作業が順調に終了し、秋蒔き小麦も色が濃く豊作を期待したところでしたが、五、七前半の生育期間の日照不足に低温と多雨により、作

謹賀新年

平成31年 元旦

えんゆう農業協同組合

代表理事組合長 中川 菊夫
代表理事専務 菅井 誠
理事 菅井 秀幸
理事 関口 哲治
理事 阿部 和彦
理事 八巻 武則
理事 岡和田 博
理事 横尾 俊雄
理事 高橋 敬貴
理事 古関 則一
理事 情野 修
理事 城岡 克利



” ” ” ” ” ” ” ” ” ”

城岡 克利
情野 修
古関 則一
高橋 敬貴
横尾 俊雄
岡和田 博
八巻 武則
阿部 和彦
関口 哲治
菅井 秀幸
菅井 誠
中川 菊夫



物全般が生育遅れや湿害を受ける事となりまして。平均反収では、玉葱は平年作の4・2基となったものの、小麦は平年8俵に対して7・1俵、甜菜は平年4・8tに対して4・2t、糖度18度、馬鈴薯は平年3・2tに対して2・5tと、その他南瓜、ブロッコリー、シソ、スイートコーン等全般的に平年作を下回る結果となりました。しかし、全国的な野菜物不足で引き合いが強くなり、玉葱・ブロッコリーが高値で推移している事は、とても喜ばしいことです。三十二年度も天候に悩まされる年となりましたが、組合員皆様の営農努力によって、被害を最小限に留められた事に、改めて敬意を表するところであります。

また、酪農については、乳価が加工原料乳補給金と集送乳調整金を含め税込で101円、個体販売価格も依然として高値での推移となり、畜産クラスター事業との相乗効果で、規模拡大・労力軽減対策への投資意欲も高く、生乳生産量は前年対比100・3%の伸びとなっておりますが、今年の天候不順は、粗飼料の生育にも影響を与え、粗飼料不足と今後の乳量減少が憂慮されるところです。

また、九月の地震での停電では、発電機が充分でなかったことで搾乳は一回しかできず乳牛にダメージを与え、冷やせなかつた牛乳と集乳工場の受入停止により廃棄を余儀なくされ、当JAでは約360tの廃棄となりました。発電機の対応では、玉葱耕作者の寛大なご厚意を賜り、貸出をして戴いた事に深く感謝申し上げます。通電後は、皆様のご努力により乳房炎は最小限に留められ、生

産乳量は早期に回復する事ができました。皆様の大変なご苦労に心よりお見舞い申し上げますと共に、改めて皆様の営農努力に敬意を表するところであります。

当組合は、昨年の停電災害を受け酪農家個々への非常用電源設備の設置を急務とし、配電盤設置への助成をしまいにあります。また、引続き草地植生改善対策の実施、哺育育成センター整備の計画はじっくり時間をかけて進めて行きます。十二月に可決されました「改正出入国管理法」により、外国人実習生受入制度が改正されますが、新たな制度に乗り遅れることの無いよう情報収集してまいります。また、平成二十八年改正農協法と、JAバンク基本方針の見直しに対応するため、当組合も公認会計士監査法人の受入と、JAバンクルールに則った体制変更をしなければなりません。

一方、農政に目を移しますと、昨年十二月に加工原料乳補給金と集送乳調整金が合わせて十四銭(kg当り)の増額が決定し、他にも生産体制強化対策の新設、酪農G0事業の予算増加や非常用電源確保の為の支援等酪農畜産対策費は合計で四十四億円の増額となりました。これから交渉入りする加工原料乳価が、引き上げられるのか注目されるところであります。また、畑作では、直接支払交付金単価(ゲタ単価)を、小麦で一俵当り五十円、甜菜でt当り二百十円の引上げが決まりましたが、昨年末に発効されたTPP11・本年二月に発効予定のEUとのEPA、そして日米貿易協定(TAG)は今月中旬以降

に交渉入りが予定されており、不安が解消されません。米国の圧力をいかにかわすか、「TPP越えを阻止する」との力強い声が政府内から聞こえてこない事は危惧されるころであり、日本農業を左右する重大な岐路にある中、交渉状況を丁寧の説明し、農家の不安を取り除く事が政府として当然の行動であります。国会での議論も不十分なまま与党による強行採決がなされるのではないかと憂慮されるころです。食料基地と言われている北海道農業にとつてこれまでにない貿易自由化に対して、これからは安心して営農ができる充実した政策が打ち出される事に期待するころです。当JAの使命である、組合員に寄り添い、地域農業の振興を図り、安心安全な食料を継続的に提供する事は今後においても不変であります。皆様に安心して営農できる環境づくり、自主・自立と民主的運営の基本に立てる組合員皆様の農協を目指してまいりますので、本年も特段のご協力とご理解をいただきますようお願い申し上げます。

今年の干支は亥ですが、猪肉は栄養価が高く「無病息災の象徴」との言われがあるようです。無病息災を目標に今年一年猪突猛進し、五穀豊穰の秋を皆様と共に迎えてまいりたいと思っております。

結びになります。今年こそは天候に恵まれ、組合員家族の皆様のご健康と家内安全、絶対無事故を心よりご祈念申し上げます。平成三十一年新年の挨拶といたします。

酪農専門部会 部長 秋葉 宏之 副部長 緑川 将仁		代表 監事	石田 佳宏
		常勤 監事	馬場 秀人
ビート専門部会 部長 松浦 健治 副部長 牧野 克好		監事	高橋 淳
		参事	岡村 貴幸
ブロッコリー専門部会 部長 平野 寿雄 副部長 藤井 和人		参事	岡村 貴幸
		職員	城岡 克利
玉葱専門部会 部長 井上 靖 副部長 山田 忍		参事	城岡 克利
		職員	一同

新しい年を迎えて

網走農業改良普及センター遠軽支所 支所長 竹岡裕之



新年明けましておめでとうございます。平成三十一年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。また、平素より、農業改良普及事業の推進に對しまして深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年の北海道は大きな震災に見舞われ、その後の停電など、農業はもとより社会全体に大きな被害をもたらしました。被災地、被害に遭われた方にお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興、経営再建を心よりお祈り申し上げます。農業生産では、全道的に天候不良の影響を受け、米の作柄が不良となるなど作物全般の生育には厳しい一年となりました。

J A えんゆう地域の気象経過と農作物の作況を振り返りますと、春先の融雪は平年より早く進みました。5月中旬から下旬にかけては高温小雨、6月から7月にかけては低温多雨傾向となり、この期間の作物の生育は緩慢となりました。

秋まき小麦では稈長は平年より短く、穂数、穂長は平年をやや上回り、

子実収量は平年をやや上回りました。一方、赤かび病、アブラムシの発生が多く製品率は低下しました。

てん菜の移植作業は順調に進みましたが、その後の少雨により活着までに時間を要しました。病害虫の影響も少なく、根重は平年並み、糖分は平年よりやや高めとなりました。たまねぎは、移植作業は順調に進みました。

6月上旬の降雨により、例年より早く葉先枯れ症状が発生しましたが、適切な追肥や葉面散布により適当な葉色を維持することができました。結果、全体的な収量は平年並みとなりました。一方、皮剥けや黒しみ等の発生があり歩留まりは平年を下回りました。

飼料用とうもろこしについては、低温による生育停滞、降雨による肥料成分の流亡、湿害を主因とする生育不良が見られました。

また、登熟も遅れたためTDN収量は大幅な減収となりました。牧草は融雪が順調に進んだことから萌芽は平年より早まりました。一

番草の収穫時期の降雨により収穫終わりは大幅に遅れ、粗飼料栄養価の低下が懸念されます。

生乳生産では、震災に伴う大規模停電により搾乳作業の遅延や生乳廃棄を余儀なくされました。暑熱対策機能も停止したことから、乳牛の体調悪化や乳房炎の発生など、生産に影響しました。

一方、社会情勢に目を向けると、恒常的な労働力不足から雇用労働の確保は喫緊の課題となっております。外国人就労を含めて地方の雇用労力をいかに確保していくか、就労する環境をどう整えていくか、「人が残る・残れる地域」とは、など課題は山積しています。

普及センターとしても生産者や関係機関の皆様と連携し、地域の振興を目指した取り組みを積極的に進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどをお願いいたします。

最後になりますが、本年の豊穡の秋とご家族の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶といたします。

小麦専門部会

部会長 篠原 健一
副部会長 花木 慶喜
" 前島 英樹

南瓜専門部会

部会長 大河原正一
副部会長 森谷 満久

農機推進委員会

部会長 大泉 隆夫
副部会長 西塚 仁志
" 柳田 拓馬

えんゆう農協青年部

部会長 水野 暁
副部会長 福島 達也
" 長谷川雄基

えんゆう農協女性部

部会長 松浦三代紀
副部会長 松田美由紀
" 渡辺ひろみ



平成31年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章



改革は自ら行うものとして、『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けて、JAグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じて自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は己亥（つちのとい）です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態」で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことであります。

今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦勞が報われる実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。

しない毅然とした対応を求めています。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間のうち、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出

荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度も概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲に



新年のご挨拶

J A えんゆう 青年部

部長 水野 暁



新年あけましておめでとうござい
ます。

平成31年の新春を迎え、青年部員
ならびにそのご家族、農業関係者の
皆様には心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、春先の融
雪も早く植え付け作業など順調に進
みましたが、六月以降の大雨と低温
の影響をうけての収量の大幅な低下
が懸念されましたが、おおむね平年
作を確保できたと思えますが、一部
の作物では悪天候の影響がみられた
と聞きます。

また九月には地震があり、停電に
よる甚大な影響がありました。被害
に遭われた方々には心からお見舞い
申し上げます。そのなかで、お互い
に思いやり、助け合って乗り越えら
れたと思えます。周りの仲間があつ
てこそ営農ができ、自分一人ではど
うにもできないことを、教えられた
年だったと思えます。

青年部活動としましては、例年実
施している町主催事業への参加協力
オホーツクJA青年部協議会、北海
道農協青年部協議会による上部団体
事業への参加、PR活動、上湧別小

学校4年生児童を対象とした農業体
験学習を通じた食育活動など様々な
活動をおこなってきました。

農業体験学習では、食べ物の大切
さを教えることができ、子供たちの
笑顔に触れ、やりがいを感じるこ
のできた活動になったと思えます。

各事業に参加することにより、私
たち青年部は、様々な知識や経験を
積むことができ、有意義な時間を過
ごすとともに、日ごろの活動にも自
信を持つことができました。

その他事業につきましても各関係
機関の皆様と各部員の皆様のご協力
をいただき円滑に進めることができ
た事に厚くお礼申し上げます。

今後も青年部活動を通じて、部員
間の団結、相互理解を図り、JA運
営や営農に積極的に取り組み、活気
ある青年部活動をおこない、担い手
として努力していきたいと思えます。
最後になりましたが、本年も各関係
機関および各部員皆様の一層のご
支援とご協力をお願い申し上げますと
ともに、良き一年になりますよう祈
念して新年の挨拶とさせていただきます。

新年にあたり

J A えんゆう 女性部

部長 松浦 三代紀



昨年9月6日未明に発生した、北
海道胆振東部地震により、お亡くな
りになられた方々、遺族の皆様に対
し、深くお悔み申し上げます。

女性部員の皆様におかれましては、
健やかに新年をお迎えのことと存じ
ます。農協をはじめ各関係機関・組
合員の皆様には、日頃より女性部活
動に温かいご支援をいただき、心よ
り感謝申し上げます。

昨年は、春から夏にかけての低温
に加え、台風の直撃・北海道胆振東
部地震など、災害に見舞われた一年
でした。地震後、道内全域がブラッ
ク・アウトとなり、過去にない大混
乱となりました。大災害に備えて、
私たちが女性部も「何が出来るのか、
何が必要なのか」という事を普段か
ら協議し、準備する必要性と地域コ
ミュニティの大切さを痛感いたしま
した。

JA全国女性協では、3か年計画
「JA女性 ふみだす勇氣 学ば
う・伝えよう・地域とともに!!」を
掲げています。昨年11月に開催され
た、道女性協大会・家の光大会では、

昭和34年に全国の農村婦人のカンパ
により資金がまかなわれ、明治の農
村を舞台にした映画「荷車の歌」を
鑑賞いたしました。戦中・戦後の男
尊女卑の時代に、農村家庭に嫁いだ
主人公が力強く生きた一生に、心打
たれました。

農家戸数が減り、女性部員も減少
の一途ですが、先輩方が心のよりど
ころ、そして大変な時代でも学びの
場として立ち上げた女性部活動は、
次世代へつなげていかなければと、
思いを新たにいたしました。

農業情勢では、TPP11が発効さ
れ、安い輸入品が入り、国内では消
費税が8%から10%へと上がります。
農家収入の減少と生活費の高値で、
家庭を守る女性にとつては大変な年
になります。女性部活動の中で皆
さんと知恵を出し合いながら、乗り
切って行こうと思えます。

本年も引き続き各機関の皆様には
女性部へのご指導とご協力のほど、
よろしくお願い申し上げます。新年のご
挨拶とさせていただきます。

一日皆貯金

当選者発表

〈特賞〉 一万円（五名）

山内三津子・島上 繁・奥山 敏子
平野由美子・木村 律子

〈金賞〉 五千元（十五名）

三品 正幸・吉村 智之・國枝うめの
片平 ジャネットトチャオ・平野 朋矢
和田 玲・高柳 美空・佐藤真之助
笹原かほり・佐藤百合子・西塚 理恵
浜野 洋子・新野尾ちづ子・布施 武
関東アサ子

〈銀賞〉 三千元（三五名）

山崎 光吉・池田 隆喜・上松 拓実
石田 玲香・花木 カヨ・三品 勲
古庄 隆子・天野 茂・横山 笑子
清水 香蓮・木村 新市・高橋 順一
水牧 千里・井上 美奈・秋葉キミ子
楠瀬 アキ・工藤 隆宏・宮嶋江美子
稲田 雄斗・木暮 和嘉・太田 直美
伯谷 和子・鈴木 翔大・田中 達也
岡村 誠一・西塚 滋・山崎 保子
松川 江津・大江 利幸・高木 勝喜

紺野 知子・岡村 愛子・平塚 里梢
馬場 恵・鹿野 芳子

〈銅賞〉 一千元（百名）

藤井 正博・八巻彩也香・三品 凜子
加賀 帆夏・石田 則夫・高柳 雅一
八巻 晴香・中田 誠・関口 昌子
高橋 葉子・三品 史絵・武藤 キク
森 美月・深見 静子・片岡美枝子
吉村 諄郎・涌島みずき・竹内 昭則
三沢ヒフミ・山口 祥子・清水真由美
井上 政徳・須藤 正子・原田 貞子
高濱 忠治・斉藤 政子・小崎 智子
牧野 和美・岩井 東子・植村亜希子
三品 泰加・高柳 忠史・志鎌 哲雄
佐藤 直行・中川 維都・国枝 照美
平野 幸代・鈴木 昭人・平野 孔基
小野 寿一・川合千鶴子・石田 陸
花木寿一郎・森谷 龍暉・藤井 真吾
天野 英紀・長畑 一男・門脇 梨奈
安本 博・須藤 吉夫・三澤ふみ子
西原 奈緒・前島 和代・菊地ユリ子
青田 英明・佐藤 克哉・大村 明
稲田 由美・大家トシ子・前島 英資
久須田 昭・小笠原政子・上田 博

斎野 恒範・矢久保幸子・加賀ミツ子
石山 幸一・舟山ひかる・久須田宏子
菊地 敏子・高橋キヌ子・稲田 皓太
鬼束 啓子・前島 英樹・竹村 冷子
富永 孝子・鈴木まゆみ・小森 節子
川口真由美・菊池 和江・途中由香理
木村 琉楓・加賀屋泰樹・山口 蔵壘
佐藤 明美・前田 陽子・青山 光子
菊地 敏明・森谷 百花・芳賀 幸子
林 紗瑛・原田八代子・小池ツヤ子
大江 咲子・益山 陽菜・安立 瑞枝
大辻 等則・秋田 勝利・三浦 郁子
東海林ミイ子
（順不同・敬称略。お名前に誤字等ございましたら、ご了承願います。）

当選された皆様、大変おめでとうございませう。賞金につきましては、一月末日までに貯金口座に入金いたしますのでご確認ください。また、当選された方にはあらためて文書にてご通知申し上げます。
当JAは、今年も皆様のお役に立てる金融機関として貯金業務はもちろん相談業務充実をはかり、皆様のご利用をお待ち申し上げております。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

JA北海道中央会



次世代の大規模農業経営者の育成を目的と
した「北海道アグリフードプロジェクト・ア
カデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受
講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両
日、札幌市内で開講されました。

今回は「人づくり・組織づくり」をテーマ
に組織開発、労務管理
の基礎知識を専門家か
ら学ぶとともに先進事
例の紹介もあり、研修
のまとめとして、受講
生各自が「夢の農業経
営」を実現するための
「働き方改革実行宣言」
を行いました。



JA北海道信連



11月に農業経営者支援の一環として、今年
で8回目となる「農業経営フォーラム」を札
幌で開催しました。当日は、(有)トップリバ
ーの嶋崎代表取締役「トップリバー流の人材
育成」を、志ネットワークの上甲代表に「い
ま経営者に求められるもの」松下幸之助の人
づくり」をテーマに講演
頂きました。参加者からは、
「人材育成の重要性を理解
できた」、「人としてあるべ
き姿を教わった」など好評
を頂きました。



ホクレン



全道のホクレンSSで展開した「2018
ラブ&ハートチャリティキャンペーン」に寄
せられた募金と、売り上げの一部を合算した
総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ
寄託しました。当キャンペーンは、ホクレン
の社会貢献活動「HOKURENSEEDS
PROJECT」の一環として
実施しており、道内の児童保育
施設約810箇所、絵本など
の購入費用として使用いただく
事となっております。



JA共済連北海道



12月24日(月)から1月20日(日)まで、
さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン×
こども共済」の巨大壁面広告(全長14・5m)
を掲出します(写真はイメージです)。一般
のママ達が選ぶ「マザーズ
セレクション大賞」を受賞
した「こども共済」を年末
・年始にかけ全道から札幌
へ訪れる方々へPRいたし
ます。札幌にお越しの際は、
ぜひ地下歩行空間でご覧下
さい！



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住
民の皆様生命と健康を
守るため、本会事業の積
極的な啓蒙推進を図るこ
とを目的として、広報誌
「すまいる」を発行して
おります。

年3回発行しており、

様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載し
ておりますので、是非ご一読ください。



ハーバリウム作りを体験 女性部フレッシュミズ合同研修会



瓶に好きな花を入れていきます



色とりどりのハーバリウムができました

J A女性部フレッシュミズでは、12月7日にJ A本所にて合同研修会を開催し、部員19名で遠軽町南町にありますben tleyの市川清香氏を講師に招き、ハーバリウム作りを体験しました。

近年、SNSを中心に話題となっているハーバリウムは「植物標本」という意味で、保存液が入った透明の瓶の中にドライフラワーやプリザーブドフラワーが入ったインテリアグッズです。最初は瓶の中に入った花をピンセットで移動させるとき、思うように上手くいかず悪戦苦闘する場面もありましたが、作る本数を重ねていくうちに段々と手際がよくなり、色彩豊かなハーバリウムをつくることが出来ました。

出来上がったハーバリウムを1ヶ所に集め、お互いの作品の感想を述べた後、写真を撮るなど有意義な合同研修会を終えることが出来ました。今後もフレッシュミズでは、様々な企画を合同研修会でおこなっていきたいと思いますので、多くの参加をよろしくお願いいたします。



講師から飾りつけの方法を教わりました



イメージ通りのケーキを作ることができました

J Aえんゆう上湧別地区女性部は、12月13日・14日に参加部員22名で湧別町地場産品加工センターにて研修会を開催し、洋菓子講習を行いました。

講師として湧別町地域おこし協力隊の野田嘉人氏を招き、生クリームとイチゴを使ったデコレーションケーキを作りました。講習中、野田氏にケーキの飾りつけ方法を一例と

して実演して頂いたほか、今後自宅でケーキを作る上では欠かせない様々なアドバイスを頂きました。

生クリームを泡立てる作業では、段々固く重くなるクリームに悪戦苦闘する場面がありました。飾り付けでは部員一人ひとり考えた、オリジナルケーキを作ることができ、両日ともに楽しく研修を終えることが出来ました。

「J Aえんゆう上湧別地区女性研修会」

賀正

昨年中はご愛顧を賜り
厚く御礼申し上げます。
本年も旧に倍しての御愛顧の程
宜しくお願い申し上げます。
社員一同、皆様の御用命を
心よりお待ち申し上げます。

平成三十一年 元旦

(株)ジエーエーえんゆう

燃料事業部
農機・整備事業部
Eコープ事業部

平成31年度 営農計画書作成協議日程

本所(会場：本所 会議室)・遠軽地区(会場：遠軽支所 大会議室)

日程	曜日	午前	午後
1月18日	金	開盛・札富美・旭	
1月21日	月	富美・上富美	
1月22日	火	北兵村二区・三区	北兵村一区
1月23日	水	屯田市街地	南兵村二区
1月24日	木	南兵村一区	南兵村三区
1月25日	金	千代田・社名淵・美山・若松・丸瀬布地区	
1月28日	月	学田・向遠軽・豊里・清川	
1月29日	火	栄野・瀬戸瀬・湯の里・若咲内	

※協議日程の都合が悪い方は、別会場・別時間でも参加可能です。
但し、別会場希望の方は、事前に担当者までご連絡お願い致します。
尚、日程が変更になる場合は、都度連絡申し上げます。

●白滝・生田原地区につきましては、1月10日以降、個別にご連絡させていただきます。